

# はじめに

県では、5年毎に“漁業の国勢調査”といわれます漁業センサスを実施しております。この度、平成20年11月1日現在で調査した結果の概要を取りまとめました。

本県は、豊かで、かつ、それぞれ特徴のある有明海、不知火海、東シナ海に接し、「県の魚」となっているくるまえび、アサリを中心とする貝類、のり類とともに、多様な魚に恵まれたところです。

しかし、現在の漁業は、価格低迷や燃油高騰等により、厳しい経営状況にあります。さらに、担い手の不足や高齢化等が進み、漁場環境の悪化、水産資源の減少により、産業としての維持が難しくなっており、漁村の保全も厳しい状況にあります。

このような状況の中で実施された今回の漁業センサスの結果が、今後の水産振興や水産行政の基礎資料として、より幅広い場所で、より多様な御活用をいただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査に御協力いただきました、調査対象者、漁業関係者、統計調査員及び農林水産省・市町職員等関係機関の方々に、改めて深く御礼を申し上げます。

平成21年11月

熊本県地域振興部長

坂本 基